

令和5年度 高校一般入学試験

総合コース

国語

(50分/100点満点)

《受験上の注意点》

1. 監督の先生の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 問題冊子は8ページ、解答用紙は2枚あります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 問題冊子・解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。
5. 問題冊子・解答用紙の回収については監督の先生の指示に従ってください。

受験番号	
氏名	

「一」 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。(出題に際し、省略した箇所があります) (70点)

もしも人生の意味を考えるとすれば、何らかの意味での挫折を経験した時だろう。自分の勤めていた会社がなくなるとか、健康に自信があった人がケンシン^Aを受けた時に癌^{がん}であることがわかったというような時である。好意を寄せていた人に冷たくあしらわれたというような時に思いツ^Bめる人もいる。

しかし、幸か不幸か、このようなことをまったく経験しない人もいる。そのような人でも、やがて年老い、近づく死のことを考えて不安になることはあるだろう。だが、いつまでも自分は若いと思いい、身体が弱ればその時はさっさと死ぬ^Cなどとい^Cサましいことをいう人もいる。実際にそうなった時に、元気だった時と同じことがいえるかはなはだ疑問であるが。

A身 **B**世という言葉は今の時代は死語なのかもしれない。たとえそのようなことを願っていても、大企業であってもツ^Dツ^Dれる時代なのだから、たとえよい学校に入り、よい会社に入っても幸福な人生を送れるかどうかはわからない。

それでも時代の変化に気づかず、あるいは、気づかないふりをして、今もなお、少なくとも自分だけは幸福になれると思いい、いよいよ競争^Iに勝ち抜^Iくことで幸福をつかみ取ろうとする人もいる。そのような人にとっては、よい学校、よい会社、幸福という図式^Eがグズ^Eれた今の時代状況は、幸福をハ^Fハ^Fむ要因以外の何ものでもない。

成功することが、幸福に生きることを保証してくれるわけではない。この場合の成功とは有名大学に進学し、一流企業に就職するというようなことだろうが、そのような人は子どもの頃から、まわりの大人に成功^{II}することが大切だと吹き込まれている。

家族や親戚に成功した人がいれば、そんな人になれといわれる。かくて、何か^①に「なる」ことが大切なことだと思ってしまう。今「ある」ところにはいけなくて、どこかに向かつていかなければならない。当然^{III}、後ろ^{III}に退くことなどあつてはならない。三木清は、成功は進歩に關係するといってい

る(『人生論ノート』)。かつての右肩上がりの経済成長率のグラフが連想されるところである。

三木は、成功は「過程」に関わるが、それに対して、幸福には、本来、進歩というものはなく、「幸福は存在に関わる」といつている。何も達成していかなくても、何も所有していなくても、成功しなくても、人は幸福になることができるのだ。

より正確に言えば、成功しなくても幸福に「なる」のではない。幸福で「ある」のである。それが「幸福は存在に関わる」ということである。

② 成功／不成功と幸福／不幸を同一視している人は、成功しなければ幸福になれないと思っている。しかし、今日では、成功したからといって、そのことがかえって人を不幸にするケースが頻りに報道されている。それでも、成功を目指すことを完全に断念する人は少ない。高学歴で一流といわれる企業に就職しても、過労死しかねない労働を強いられるようなことがあることを聞かされていても、そして、そのような生活が幸福には結びつかないことを知っていても、自分に限ってそんなことにはならないと思う。実際、多くの人は昇進し、経済的に報われる生活をしているのだから、自分もそのような生活を送れるに違いない、そう思いたいのだ。

成功することが幸福であると考えた人とは違って、生活の中でのささやかな満足にこそ幸福は見出せると考える人がいる。仕事から疲れて帰ってきた時、子どもの寝顔を見ること。家族が一堂にCして食事すること。そんなことは昇進することに比べたら取るに足らないことのように見えるが、日常の些細な瞬間に幸福を感じられる人は、職場での昇進には執着しない。

④ 子どもの頃、私は父の生き方が少しも理解できなかった。だが、今になって振り返ると、父が夕食時に必ず帰ってきていたのは、早くから昇進を諦めていたからだろうと思う。父が無能だったのではなく、家庭での幸福にこそ満足を求めていたのである。

父のような生き方を選ぶ人は知っている、家庭での幸福こそが何にも代えがたいことであり、日常生活でささやかな幸福を感じられる瞬間を持つてゐることは、人類の偉業と並ぶほどの奇蹟といつてよい出来事なのだとということ。(中略)

三木清によれば、幸福は質的なものであり、成功は量的なものである。

お金を得ることや出世するというようなことであれば、イメージするのはたやすい。ところが、幸福は質的なものであり、しかもその幸福は「各人においてオリジナルなもの」なので、他者には理解されないことがある。成功が一般的であるとすれば、幸福は個別的である。

量的なもの、一般的なものと考えられる成功は誰にでも手に入れられるように思われるので、嫉妬の対象となりうる。他方、幸福は質的であり、個別的、各人のものなので、他者からの嫉妬の対象にはなりにくい。三木は次のようにいつている。

⑤「① 純粋な幸福は各人においてオリジナルなものである。しかし成功はそうではない。エピソード（追従者風）は多くの場合成功主義と結び附いている」（『人生論ノート』）

これはトルストイの『アンナ・カレーニナ』の冒頭に、「すべての幸福な家庭は互いに似ている。不幸な家庭はそれぞれの仕方不幸である」といわれているのはちょうど逆の言い方である。

トルストイは、幸福と不幸を対比しているが、三木は幸福と成功を対比している。トルストイの言葉を借りるならば、「すべての成功者は互いに似ている。幸福な人はそれぞれの仕方幸福である」といえるだろう。互いに似ているからこそ、模倣され追従されるのだ。

それでは量的なことであれば、必ず嫉妬の対象になるかといえそうではない。百米トルを走るのに十秒を切る人がいても、そのような人を嫉妬する人はほとんどいない。決して自分の手に届く記録ではないことを知っているからだ。

他者の美を妬む人はいる。他者の美を ② なものと考えているからである。美を量的に捉えている限り、自分にも勝てるのではないかと思う。しかし、実際には他者の美に到底追従できないとわかれば嫉妬しなくなる。つまり、美が ③ な差異であると知れば嫉妬しようとは思わないし、勝とうとも思わなくなる。化粧や整形ではどうすることもできない美は追従しようがないからである。

その際、自分は他者の美に敵わないと思う必要はない。他者と自分の美は ④ に異なり、比べることができない、そう見ればいいのである。もちろん、自分の ⑤ な美も他者から追従されることはない。

問一 〓線部A～Fのカタカナを漢字に直しなさい。

問二 空欄A・Bをそれぞれ漢字一字で埋め、四字熟語を完成させなさい。

問三 空欄Cを漢字一字で埋め、「一堂にCして」という慣用句を完成させなさい。

問四 〰〰〰線部I～IVのうち、――線部①「何かに『なる』こと」と、本文において同じような内容のものにはA、対比されている内容のものにはBと書きなさい。

問五 ー線部②「成功／不成功と幸福／不幸を同一視している」とはどういうことか。次の中から適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 成功すれば幸福だとみなし、成功しなければ不幸だとみなすこと。
- イ 成功には不成功が対比され、幸福には不幸が対比されること。
- ウ 成功と不成功はセットであり、幸福と不幸もセットであること。
- エ 成功するかどうかは幸福かどうかにかかっていること。

問六 —— 線部③「成功したからといって、そのことがかえって人を不幸にするケース」とありますが、そのようなケースに該当するケースを本文中の語句を用いて、三十一字以上三十五字以内で述べなさい。

問七 —— 線部④「父の生き方」とはどのような生き方か。本文中の語句を用いて、三十五字以内で述べなさい。

問八 —— 線部⑤「純粋な幸福は各人においてオリジナルなものである。しかし成功はそうではない。エピソード（追隨者風）は多くの場合成功主義と結び附いている」をわかりやすく言い換えた箇所を本文中から三十五字以内で抜き出し、最初と最後の五文字を書きなさい。

問九 空欄1～4には「量的」か「質的」が入ります。それぞれ適当なものを書きなさい。

〔二〕 次の各問いに答えなさい。(30点)

問一 次の①～⑤が四字熟語になるよう、空欄A～Jに漢字を書きなさい。また、①～⑤の意味を後の選択肢A～キからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① A 離滅 B ② C 心 D 心 ③ 我 E 引 F ④ G 石 H 交 ⑤ 魚 I 之 J

ア 争う当事者を差し置いて、第三者が利益をものにする事。

イ 黙っていても意思が通じ合う事。

ウ 自分の都合のいいように言ったりしたりすること。

エ 良いものと悪いものがまざりあっている事。

オ 大人物は人より遅れて成長すること。

カ 競い合って、両方ともつぶれる事。

キ 内容がばらばらで筋道が立っていない事。

問二 次の熟語の構造として正しいものを、後の選択肢ア～カからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 勝敗 ② 早熟 ③ 絶縁 ④ 気絶 ⑤ 深海 ⑥ 潜水
- ア 主語＋述語 例 地震||地が(主語)＋震える(述語)
- イ 述語＋目的語 例 抜歯||歯を(目的語)＋抜く(述語)
- ウ 述語＋補語 例 乗船||船に(補語)＋乗る(述語)
- エ 連体修飾語＋体言 例 高山||高い(連体修飾語)＋山(体言)
- オ 連用修飾語＋用言 例 晩成||晩おそく(連用修飾語)＋成る(用言)
- カ その他

問三 次の動詞の謙讓語を後の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- ① 言う ② する ③ 食べる ④ 見る
- ア おっしゃる イ いただく ウ ご覧になる エ 拝見する オ いたす
カ なさる キ 申し上げる ク 示す

問四 次の空欄を埋めてことわざを完成させなさい。すべてひらがな三字で書くこと。

① 初心忘るべ^A。

② 情けは人のため^B。

③ 親し^Cにも礼儀あり。

④ 身をすて^D 浮かぶ瀬もあれ。

⑤ 禍^{わざわい} 転じて福^E。

問五 次の文の中から動詞だけを抜き出しなさい。

① 私はそんなことはしない。

② 君しか見えない。

問六 次の説明のうち正しいものを三つ選び、記号で答えなさい。

ア 一般的な短歌の形式は五・七・五・七・五である。

イ 「や」や「けり」は俳句では切れ字と言われている。

ウ 俳句には季語が絶対に必要である。

エ 『源氏物語』を書いた清少納言は女性である。

オ 『坊ちゃん』の作者は夏目漱^{そつせき}石である。

カ 『銀河鉄道の夜』の作者は宮沢賢治である。

一											
問九	問八	問七		問六		問五	問四	問三	問二	問一	
1							I	C	A	E	A
2	3						II		B	F	B
3							III				C
4							IV				D

受験番号
氏名
採点

二								
問六	問五	問四		問三	問二	問一		
	①	D	A	①	①	⑤	③	①
						I	E	A
					②	J	F	B
				②				
	②	E	B		③	意味	意味	意味
				③	④		④	②
			C				G	C
				④	⑤		H	D
					④			
					⑥	意味	意味	

受験番号
氏名

一											
8点	8点	8点		8点		6点	12点	4点	4点	12点	
1	す	そ	職	ね	高	ア	I	C	A	E	A
量的	べ	満	場	な	学		A	会	立	崩	検診
	て	足	で	い	歴						
	の	を	の	労	で						
	成	求	昇	働	一						
2	く	め	進	を	流	II	A	出	阻	詰	
質的	幸	る	に	強	企	A					
	福	と	執	い	業						
	で	い	着	ら	に						
	あ	う	せ	れ	就						
3		き	、	ケ	し	III	B	勇	潰		
質的		方	家	丨	て	B					
		。	庭	ス	も						
			で	。	、						
4		の			過	IV	A	潰			
質的		幸			労						
		福			死						
		に			し	A	潰				
		こ			か						

受験番号
氏名
採点

二								
3点	2点	5点		4点	6点	10点		
イ・オ・カ	①	D	A	①	①	⑤	③	①
	し	てこそ	からず	キ	カ	I	E	A
					②	J	F	B
				②	オ	利	水	裂
	②	E	B	オ	③	意味	意味	意味
	見え	となす	ならず		イ	ア	ウ	キ
				③	*熟語が完成して1点・意味で1点	④	④	②
				イ		ア	G	C
	きなか		C	④	⑤	H	D	
					エ			混
エ				⑥	意味	意味		
				ウ	エ	イ		

*一個1点。四つ以上回答している場合は×。

受験番号
氏名